



なかよし苗代っ子

令和8年6月号

苗代小学校校長 北野 勝久

TEL 0761-22-1041

FAX 0761-22-1059

e-mail: nosiro-e@kec.hakusan.ed.jp

あいさつが子どもたちの心を育てる

あじさいの花が雨に映える季節となりました。新しい学年がスタートして早数ヶ月が経ちましたが、子どもたちは日々の学校生活にすっかり慣れ、学習や運動など、一生懸命にがんばっています。



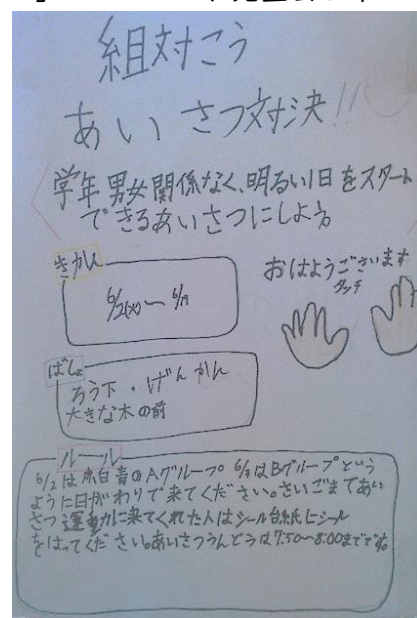
1学期は、4つの「あ」…「あいさつ」、「あんぜん」、「あたたかい」、「あきらめない」、に学校全体で取り組んでいます。その中で、「あいさつ」については、児童会が中心となり、「いつでも どこでも だれにでも なんとでも 元気なあいさつ」を呼び掛けています。

現在、朝の登校時には、各団の縦割りグループ（異学年集団）による「あいさつ運動（組対抗あいさつ対決）」を行っています。玄関には「おはようございます！」という一人一人のさわやかな声が重なり、響き合っています。学校全体があたたかい、優しい雰囲気に包まれていくのを感じ、とても嬉しく、頼もしく思っています。



あいさつは、人と人をつなぐ基本のコミュニケーションであり、将来、子どもたちが社会に出たときにも、人間関係を築く土台となるものです。「おはよう」「ありがとう」「ごめんなさい」が自然と言える子は、周りの人々からも愛され、大切にされます。

学校でのあいさつを、ぜひご家庭や地域へも広げていきたいと考えています。ぜひ、ご家庭でも、お子さんの一番の「お手本」として、毎朝笑顔であいさつを交わしていただければ幸いです。



小中あいさつ運動

年2回、小中連携として、松陽中の生徒（本校卒業生）が来校し、あいさつ運動を行っています。



図書ボランティアの皆さん、ありがとうございます

毎月、学年ごとに、朝の読み聞かせをしてくださっています。

これからも、子どもたちの豊かな心を育むためによろしくお願いします。



学校生活から

6年 合宿



6月9・10日と、6年生が大杉みどりの里で1泊2日の合宿を行いました。天候も心配されましたが、合宿のめあてである「命のありがたみを知り、自立できる合宿にしよう」「みんなが協力し、ケガなく自立できる合宿にしよう」の達成を目指し活動しました。日頃できない様々な体験を通して、学びを深めている6年生の姿が印象的でした。

認知症サポーター養成講座

交通安全教室



1年生は、小松警察署の方から、交通安全についてのお話を聞きました。雨天のため、歩行練習はできませんでした。



租税教室

租税教室が6年生を対象に行われました。租税教室とは、次代を担う子どもたちに、税の仕組みや役割を理解してもらうための出前授業です。小松市役所の税務課の方が来校され、税金について分かりやすく教えてくださいました。



4年生が、育松園の方をお迎えして、認知症について学びました。日本には65歳以上の高齢者がどんどん増えていることや、85歳以上の4人に1人が認知症であること、認知症の人へのかかわり方などを学びました。

教室の整理整頓をしよう

6月15日(月)から、教室の整理整頓チェックを行っています。音楽や体育などで教室を空けるとき、きちんと教室の机やいすを整えようという取り組みです。

日頃、空き教室を見ると、いすが出ていたり、ものが散乱していたり。

一人一人が気を付けることで、教室が気持ちよい環境になることを全校で目指します。



学校で使用している机やいす、教科書、一人一台端末、それに給食費などにも税金が使われています。

